🌈支援方針🌈

「みんなで楽しむ♪」

・専門的な医療ケア・療育を受け、発達を促し充実した生活を送る事ができるよう支援します。

・各専門分野からのアドバイスを受け、個々に合わせた医療的ケア・療育を受け、個々のペースで成長できるよう支援を行います。

・普段の散歩や地域交流を行いながら、自分の生活地域以外でも楽しく過ごせるよう支援します。

・外出活動を通して、普段できないことへもたくさんチャレンジできるよう支援します。

・家族と情報共有を行いながら、一緒に子育てや療育の成長につなげる支援します。

🌴5 領域支援とは🌴

発達の課題を 5 領域に分け、個別支援計画作成、評価・見直しを行います。

🌈健康・生活

1. 健康状態の把握・改善。
2. 生活リズムや生活習慣を整える。
3. 基本的生活スキルの習得。

＊支援内容＊（必要に応じて医療的ケアを行う）

・健康状態の把握

：意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。

・日常生活動作にかかわる支援（睡眠・食事摂取・排泄・着脱）

：健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関

する支援を行う。

・構造化等による生活環境を整える。
：生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。

🌈運動・感覚支援

1. 姿勢と運動・動作の向上。
2. 姿勢と運動・運動の補助手段の活用。
3. 保有感覚の総合的な活動。

＊支援内容＊
・ADL の向上を目標と個々にあった支援をする
：個々に合わせたポジショニングを取り日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢　の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。

・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
：姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装　置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。

・身体の移動機能の向上。
：自力での身体移動や歩行、歩行器・車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能能力の向上のための支援する。

・保有する感覚の活動。
：保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。

・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援する。
：感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。

🌈認知・行動

1. 認知の発達と行動の習慣。
2. 空間・時間・数等の概念形成の習得。
3. 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。

＊支援内容＊
・感覚や認知の活用。
：（視覚、聴覚、視覚、味覚、嗅覚）を十分に活用して、必要な情報を習得して認知機能の発達を促す支援する。

・認知や行動の手がかりとなる概念の形成
：物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。

・数量、大小、色等の習得
：数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援する。

🌈言語・コミュニケーション

1. 言語の形成と活用。
2. 言語の受容及び表出
3. コミュニケーションの基礎的能力の向上。
4.コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数党の概念形成の習得。

＊支援内容＊
・言語の形成と活用。
：具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援する。

・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得。
：個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援する。

・指差し、身振り、サイン等の活用。
：指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援す

る。

🌈人間関係・社会性

1. 他者との関わり（人間関係）の形成
2. 自己の理解と行動の調整。
3. 仲間づくりと集団への参加。

＊支援内容＊
・アタッチメント（愛着行動）の形成
：人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援する。

・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援
：感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の想像遊びを通して，徐々に社会性の発達を支援する。

・集団への参加への支援
：集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。

🌈家族支援

・日々の気になる事などの相談を受ける（医ケア・療育）等。
・連絡帳やラインなどを使い、写真など使用し様子を伝える。＊気になる事は主治医へ相談できるよう一緒に考える。
・兄弟の行事・受診等参加できる環境作りを行う。＊レスパイト・利用時間の調整等行い、家族の休息時間を作る。

🌈移行支援＊ライフステージの繋がり＊

・保育園・幼稚園・小学校等、支援状況を提供する。
・支援のバトンタッチがスムーズに進むように療育や発達支援するための定期的な会議に参加する。
・教育（特別支援学校）との連絡協議会などへ参加する。

地域支援・地域連携

・保育園・学校関係機関などの情報・連携や調整、新方法や環境調整などに関する相談・助言などの取り組み。

職員の質の向上

・働きながら資格取得を目指す者に対する研修受講支援、業務関連専門技術研修の受講支援。＊療育に必要な研修へ積極的に参加し、研修で学んだことの情報共有・アウトプットも交え事業所内研修を行う。
・当事業所の理学療法士の資質向上の目的に、専門理学療法士（ポジショニング・呼吸リハ）が定期的に来所し、より専門的な人材育成を行う。
・県・市町村・事業所（感染症・災害・身体拘束・虐待）等研修へ参加し専門分野を学ぶ。

主な行事

・季節の行事（初詣・節分・ひな祭り・進級式・入学式・母の日・父の日・七夕・水遊び・敬老の日・ハローウィン・勤労感謝の日・クリスマス会）
・クッキング（バレンタインチョコづくり・ムーチー・おやつづくり・そばづくり）等
・家族交流（餅つき、染物教室、パン作り、野外活動、お菓子作り・・・）
・避難訓練（火災・地震・津波）・家族行事・地域イベント参加・学童交流。